

## 平成26年度第4回社会教育委員会議録

開催日時 平成26年10月29日(水)  
14時30分～  
開催場所 逗子市役所5階 第7会議室

出席者 角田委員、秋山委員、長坂委員、桑原委員、柴垣委員、大内委員、松井委員、山田委員、  
堀江委員、津留崎委員  
(事務局) 翁川課長、高橋係長、荒木主事(記録者)  
福祉部児童青少年課 山田次長、堀田係長

欠席 なし  
傍聴者 なし

会議次第、提出資料 別添のとおり  
事務局から資料の説明

### 報告事項

#### ○逗子市青少年会館条例廃止について

山田次長：青少年以外にはサークル活動で利用いただいている  
平成28年度に工事至らないことが分かった。急きよ青少年会館の移転先は、療育研究センターにし、平成28年度中に開設する。  
11月議会にはかり、工事着工、条例廃止、障がい福祉課に受け渡す。  
3月末に転用をお願いしている。

#### ○逗子市体験学習施設の利用状況について

山田次長：午前中は学校があるので子どもは利用が少ない。有料にはなるが、一般の方にも使用いただいている。スマイルのチラシをご覧いただきたい。スポーツルームという体育館のようなスタジオがある。軽音楽やダンスもできるようなスペース、共用スペースとしてのラウンジや、図書館と同じような学習室、講座が出来る、乳幼児用ともう少し大きい子用のプレイルーム、市直営のカフェを完備している。

堀田係長：7月26日に開設した。小中高生の利用条件について説明させていただく。

7月 1,536人 1日当たり 57人  
8月 1,733人 1日当たり 64人  
9月 1,492人 1日当たり 60人

その他として、ホットスペースは毎日30人、ラウンジも多くの方に利用いただいている。

山田次長：文化協会市民の方と密接に。機会があればご案内させていただく。

大内委員：人数の内訳と利用の多い年齢層を教えてください。

堀田係長：データを取っているが、手元に資料が無いが、利用者の様子を見ると、小学生が5割、中高生が3割程度と思われる。大人の年齢分布は不明である。今後、中高生は5割だが今後さらに増加するよう呼びかけていきたい。

津留崎委員：どのような利用が多いのか。

堀田係長：スポーツルームの使用が多い。活動内容はバスケットボールや、バドミントン、高校生についてはダンスや、軽音楽バンドに活動が多い。ダンスは3～4時間程度利用し、軽音楽は、1～2時間から長いと半日使用されることもある。スタジオの評判が広がり、市外の利用者も多い。

津留崎委員：予約制をとっているのか。

堀田係長：現在は予約制ではないが、今後増えれば検討していく必要がある。

松井委員：利用者が多い地域の内訳は分かるか。

堀田係長：本日統計データを持ち合わせていないが、池子、沼間、逗子の順に多く、小坪の利用者は少ないように感じる。中高生の地域は様々である。ホットスペースの利用は、登録制である。沼間、桜山、池子地区の利用者や、市外在住の方が多いのも特徴である。

大内委員：逗子は葉山町や横須賀市も隣接しており、市外からの利用者も多いと思うが、今後近隣市外からの利用者の調整をどのようにしていくか。

堀田係長：ホットスペース、スマイル施設については市外の条件は設けていない。貸し館業務については、逗子市民半数以上という条件があるので、そのようなかたちで市内の方の利用を担保させていただいている。

山田次長：例えば、逗葉高校の生徒はほとんどが市外在住である。中学の友達同士で施設を利用する場合は、市外在住の子どもの利用も増える。今後は市外在住のみの利用団体の扱いをどのようにするか、今後検討していく必要がある。

角田次長：早く決めた方がいい。

山田次長：市内在住・在勤を中心とした条件のある団体登録にしていきたいと考えている。以前に口コミで来た市外の高校生が1人で来た例があったが、現状としては市内に住んでいないからと追い返す訳にもいかない。ルールについては早めに決めていきたい。

大内委員：こういうのは口コミで拡大する。決まりがあれば良いと思う。

角田議長：スタジオは3人～5人等の団体貸しにしたほうがよい。1人で使われても困る。

長坂委員：場所が良く分からない。チラシに地図も入れた方がよい。

角田議長：駐車場満車になることはあるか。夏のプールの時期や、逗子アリーナで大会があるとかなり込み合う。

大内委員：療育総合センターが逗子駅前にできるといっていたが、うまく出来ず、今後できた場合は移動する可能性はあるのか。

山田次長：本格的に大改修する。3階の教育研究所は残る。

津留崎委員：庭に危惧がある 不審者情報などは出ていないか。

堀田係長：今のところ事件事故は起きていない。巡回しているが、危惧していた夏場も、特に何も起こらなかった。デザイン上の問題もある。今後も大人が注意の眼を。

角田委員：夜行くが暗い。もう少し明るくしたら。平屋で長い。

長坂委員：スマイルという名称はどのように決めたのか。

山田次長：小中学校に募集し、子ども委員会で選考した。

堀田係長：逗子小2年生の子供の案が採用。子どもたちの間で浸透してきている。

### ○県社会教育委員連絡協議会理事会及び実行委員会について

山田委員：資料1（P1～のとおり、別紙【第5分科会A4一枚のとおり】

関東ブロックの研究大会、メイン会場の鎌倉芸術館、両方会場設をし、本会場では1時に受付開始。設営を終えて、大船へ行かなければならない。

補足事項①：17：25の分科会は高橋係長と山田委員が参加する。

補足事項②：18時の情報交換会というレセプションがあり、自由参加であるが、ご希望の方はご参加いただきたい。

補足事項③：関ブロ大会の広告はまだ完成していない。

山田委員：第5分科会の人数は2名増やせるか。

事務局：なかなか難しいが、事務局であれば可能かもしれないので検討する。横須賀市は職員の人数が多いので、事務局から確認はしてみる。

桑原委員：資料1について確認したい。分科会にまず行って会場の準備をしてから大船に向かうのか？

山田委員：そうである。10時50分くらいまでには到着したい。

長坂委員：翌日の案内係についてだが、分科会の会場内の案内か。

山田委員：外は他の市町村の職員が対応するのだと思う。

津留崎委員：マイク渡しの担当なので、手伝うことができるが。

事務局：会場の導線が分かりにくいので、誘導をお手伝いいただければありがたい。津留崎委員は2階の案内、長坂委員は1回の受付付近をお願いしたい。

### ○教育委員会定例会について

資料2、3のとおり

## 議題

### ○第45回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について

高橋元係長より説明

- ・第45回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会タイムスケジュール 資料1のとおり
- ・第5分科会について 資料2のとおり

### ○平成27年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会について

高橋元係長より説明

資料4について

補足事項①：来年度の地区研究会については、逗子市では平成27年11月に、真鶴町では平成28年2月の開催することで調整を図り、県へも報告した。研究会の開催日程について、会場の確保の関係もあるのでご相談したい。

- ・11/19長坂委員、秋山委員都合悪い
- ・議長 金曜日避けたい、20（金）平気。
- ・長坂 木曜避けたい。

・前は金曜日。

・第1候補H27 11/25（水）、第2候補 11/20（金）、第3候補 11/30（月）

補足事項②：次回以降の社会教育委員会で、9万円の予算の中で会場や講師の依頼なども相談していきたい。

補足事項③社会教育総合プランの事例発表をしていくのかと思う。次回までにもう1つのテーマを考えてきていただければありがたい。各委員の皆さまが携わられている活動母体や、人脈からヒントとなるようなアイデアを次回以降、お出しいただければ大変ありがたい。1年以上先ではあるが準備を進めてまいりたい。

角田議長：次回以降、大きな議題として扱ってまいりたい。

## ○（仮称）社会教育総合プランについて

資料4参照

事務局：13ページ目の①-4の部分に文化財に関連する内容を記載した。6ページの2行目の部分を「スポーツ振興計画」アウトラインを修正した部分がある。年内にパブリックコメントを出す予定だったが、生涯学習推進プランがまだ完成していないので、関連する内容もあるため、来年の2月頃を目標にパブリックコメントを出す予定。4月には完成し、今後の事業評価を進めていきたい。

## ○その他

### 次回の会議の日程

●第5回 1月27日（火） 14：30～ 第9会議室

事務局：

- ① 第2回の議事録の訂正について
- ② アンケートの改訂案について（3枚）

事務局：前回の会の中でも10人の中でご意見をいただくのも難しいというご意見もあり、事務局からお願いしたい。

角田委員：公民館事業を手掛けておられる、堀江委員、松井委員、桑原委員、事務局でアンケート用紙を精査していければ。PC教室では時間もあるので、丁寧に記載してくださる。

- ③講座のチェックリスト、
- ④末吉さんプロフィール
- ⑤平成27年度講座相談（案）
- ⑥チラシ3枚